



## 2019.4.1より「働き方改革関連法」

が施行されました

- ①年次有給休暇の使用者の時季指定
- ②時間外労働の上限規制による長時間労働の是正  
※中小企業は2020年4月1日から施行
- ③同一労働同一賃金（不合理な待遇差の禁止）  
※中小企業は2021年4月1日から施行

### 中小企業に求められる対応についてご不明なことはありませんか？

愛媛働き方改革推進支援センターでは、すべての中小企業・小規模事業者等を対象に相談等の支援を行っております。今年度、出張相談会を津島町商工会にて行います。この機会に、ぜひともご相談ください。

主催：愛媛働き方改革推進支援センター

TEL：0120-005-262 FAX：089-913-5502

E-mail：hataraki1@csc-ehime.jp 受付時間：平日9:00～17:00

働き方改革  
出張相談会  
開催！

	開催日
1	7月23日（火）
2	9月10日（火）
3	10月15日（火）
4	11月19日（火）
5	1月14日（火）

開催時間：13:30～15:30

開催場所：津島町商工会

## 商工会の2つの共済 ご加入のすすめ

### 商工貯蓄共済

貯蓄

増える楽しみ

保障

いつでも安心

1つの掛金で  
3つのメリット！

融資

しっかり支える

+医療特約  
でさらに  
保障充実！

※詳しくは商工会までお問い合わせください

### 福祉共済

☆ニーズに合わせてプランを選べる

☆13万人以上の皆様にご加入中！

「病気」の補償

「けが」の補償

「生命」の補償

トータル「がん」の補償

シンプル「がん」の補償

## 愛媛県の経済動向について

### 中国経済減速の影響などから、生産活動は弱めの動き

全国：生産はこのところ弱含んでいる。消費者物価は緩やかに上昇、全体としては雇用・所得環境の改善が続くなか、緩やかな回復基調にある。先行きについては通商問題の動向が世界経済に与える影響に注意するとともに、中国経済の先行き、海外経済の不確実性や金融市場の変動の影響に留意する必要がある。

愛媛県内：生産活動は足元では幾分弱めの動きとなっている。個人消費は着実に持ち直し、雇用情勢は引き続き改善している。住宅着工は増加しており、全体としては緩やかな景気回復が続く。

#### 【雇用】

- ・4月の有効求人倍率は前月から横ばい。
- ・地域別有効求人倍率は東中南予ともに前年を上回った。

#### 【物価】

- ・4月の松山市の消費者物価指数(2015年=100)は前年同月比較0.2%上昇。生鮮食品を除く指数は24ヶ月連続で前年を上回った。

#### 【観光】

- ・4月の県内主要観光施設の入込みは南予が前年を下回ったが、中予・東予は前年を上回った。
- ・南予の一部施設で豪雨災害からの復旧が遅れている影響で、入込客数は2か月連続で前年を下回った。

#### 【消費】

- ・4月の主要6業態別小売店の合計販売額は3ヶ月連続で前年を上回った。
- ・ドラッグストアは新規出店効果に加え、引き続き食料品が好調、コンビニエンスストアは弁当などが堅調だった。ホームセンターは10連休中に客足が伸びなかった影響で苦戦した。
- ・5月の新車乗用車販売台数は2ヶ月連続で前年を上回った。



## 南予地区の経済動向について

6月28日(金) 日本政策金融公庫宇和島支店にて、令和元年度第一回経営改善貸付推薦団体連絡協議会が開催されました。南予地域の1商工会議所・5商工会の経営指導員16名が出席し、南予地区の経済動向等について報告が行われました。

#### 【宇和島市】 宇和島商工会議所・吉田三間商工会・津島町商工会

- ・災害復興工事が続いており建設業の景気は好調であるが、人手不足が懸念されている。
- ・全業種ともに事業主の高齢化が進んでおり、後継者不足が問題である。
- ・三間町ではコスモス祭りが2年連続で中止となった。

#### 【北宇和郡】 鬼北町商工会・松野町商工会

- ・災害復興工事が続いており、建設業の景気は好調。今後2年程は特別需要が続くと思われる。
- ・豪雨災害以降リスク管理の相談が増えている。
- ・鬼北町の人口は3月時点で10,260人。44%が高齢者であり、県内2位の高齢者率。
- ・高齢者の廃業が増えており、今後も会員の減少が懸念される。

#### 【南宇和郡】 愛南町商工会

- ・商社のオペレーションセンター、6次化産業を中心に雇用が生まれている。
- ・愛南町探索マップを作成し、県外からの観光客の取り込み対策を行っている。
- ・今後は英語の探索マップを作成し、インバウンド対策を進めていく予定である。

#### 【西宇和】 西予市商工会

- ・大手食品製造業社の工場が完成し、今年度70名程度の雇用が生まれている。
- ・小規模事業者は慢性的な人手不足であり、即戦力を求めている。
- ・求職者と企業との人材のマッチングがうまくいかない。

